

熊本県看護連盟

ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 36

2020.1.14発行



(庭に咲いた肥後椿)



CONTENTS

会長あいさつ(矢野メリ子・大島敏子)	2P
国会議員たより(あべ俊子・たかがい恵美子・石田まさひろ)	3P
国会議員たより(木村やよい)・県協会長あいさつ(嶋田晶子)・災害見舞	4P
秋の叙勲・国政報告会・青年部ブロック会議報告	5P
第6回県議会議員と看護職との交流会・県議会傍聴	6P
議員活動報告・看護連盟の対外的活動	7P
支部役員研修・若手・新入会員研修会	8P
会員・リーダー・天草支部研修会	9P
会員のひろば	10P
Nursing now・入会会員数・お知らせ・編集後記	12P

熊本県看護連盟会長あいさつ



熊本県看護連盟
会長

矢野 メリ子

明けましておめでとうございます

新しい令和の年の初めての新年を皆様お健やかにお迎えのことと存じます。

昨年は災害が多く心が痛む1年でした、今年こそは災害の少ない年になればと願うばかりです。

さて、2019年度の事業も滞りなく実施でき残すところ看護協会との合同研修会、看護管理者等セミナー、OB会のみとなつてまいりました。皆様のご支援・ご協力により、スムーズに事業運営出来ておりますことに感謝申し上げます、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は選挙の年でした。皆様方の絶大なるご支援で石田まさひろ議員がみごと2期目の当選を果されさっそくご活躍でございます。また新しい役職に就かれた看護代表の議員の先生方もミニアンフィニ394号で紹介のとおりそれぞれにご活躍でございます。ぜひお目通しをお願い致します。

会長となり5か月あつという間に過ぎました。九州ブロック会長会、政策セミナー、全国会長会等へ出席し改めて会長としての責任の重さを感じている所です。九州ブロック政策セミナーでは「第25回参議院選挙こう戦った」のテーマで報告させて頂きました。熊本がワンチームとなって地道にコツコツ活動した3年間の成果をお伝え出来たのではないかと考えています。引き続きご支援をお願い致します。

看護協会員に比して看護連盟会員の数が伸び悩んでいる事が今課題でございます。看護連盟の会員確保に向けて全国で取り組むとの大島会長の指示の下、熊本県も1人でも多くの方が入会して下さるよう努めているところです。看護連盟の主旨をご理解頂き引き続き入会頂きます様よろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、今年一年が会員の皆様にとりまして幸多い年となりますようお祈り致します。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟
会長

大島 敏子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

熊本地震で、いまだ生活再建が整わない方がいらっしゃることに心を痛めつつ、市民病院の再建がなされたことは、肥後もつこすの持つ底力を見る思いでした。

また、第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。医療職の中でのトップ得票であったことは、ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、それでも会員数だけの得票が得られないことに戸惑い力不足を覚えております。もっともっと連盟の誕生から現在までを、如何に看護界を牽引し、また、看護職のために頑張ってきたか、会員一人ひとりが自分の言葉で「語り」「伝え」「拡げる」活動が必要でしょう。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年。還暦は、干支が一巡して、誕生年の干支に戻り、生き返ることです。私たちの先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日、常にベッドサイドで病める人々と共にありました。患者さんが、自らの病を克服し自らの生活を健康に営むための知識や知恵を持ち、生き続けることのサポートを確実にしてゆきましょう。そのためには、看護実践能力を確固たるものにし、患者さんや利用者さんだけでなく社会の人々にアピールして参りましょう。

今年は、活動のよりどころとなるスローガンを会員公募し、新たな気持ちで臨床と看護政策を結んでゆきます。

子年は、新しい生命力が創造される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらします。人生100年時代に看護連盟は、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築するため、会員増を図り、看護職の地位向上をめざして更なる政治参加をして参りましょう。

国会議員たより



衆議院議員
あべ 俊子

- ◎自由民主党
 - ・国会対策副委員長
 - ・厚生労働担当、復興担当
- ◎衆議院
 - ・厚生労働委員会委員

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新年の清々しい空気に、国会議員としての初心が熱く思い起こされます。昨年、自由民主党新人事では国会対策副委員長を拝命いたしました。診療報酬改定など、社会保障改革の節目となる年に、縦横無尽に活動できる役職を頂けましたのも、貴連盟のご支援あつてのことと、感謝申し上げます。

日本の医療、社会保障は大きな転換期を迎えております。看護の対象である患者とその家族の在り方と同じように、看護職自身の働き方についても変化を求められています。高齢化・少子化によって、看護人材の確保も大きな課題となっております。医療の世界では、他の分野同様に、AIやIoTを活用したデジタル化が進んでおりますが、患者とその家族に温もりを届けるという、看護職の役割を忘れることはできません。

看護は生活といのちを繋ぐことのできる尊い職業です。今年も、患者を中心とする多様な看護のあり方を常に考え、看護に誇りを持てる職場環境の整備に尽力して参りますので、忘れないご意見・ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

皆さまのご健勝と貴連盟のご発展を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員
たかがい 恵美子

- ◎自由民主党
 - ・文部科学部長
- ◎参議院
 - ・厚生労働委員会委員

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。熊本県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあつて、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための2040年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これからの看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる拡がり信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。皆様のご健勝とご繁栄を心から願い、幸多き一年となることを祈念申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。



参議院議員
石田まさひろ

- ◎自由民主党
 - ・副幹事長
- ◎参議院
 - ・厚生労働委員会筆頭理事

熊本県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。今年は夏のオリンピックが56年ぶりに日本にやってくる大きな年。2020年がすばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は皆様のお力を頂き、二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は17日間で47都道府県を回らせていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。一票一票の重みをしっかり感じながら、自らの行動で皆様の期待に応えていく所存です。

昨年9月には、参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。他の会派（野党）との調整を行う、緊張感の高い役割を再び務めることができるのは、身の引き締まる思いです。議論をしっかりと前に進めていけるよう、鋭意、力を尽くしてまいります。

また、自民党においては副幹事長という役割も拝命しました。党の運営には欠かせないポジションですので、しっかりと努めて参ります。

そして当選直後から再び全国を飛び回っております。皆様からの温かいお言葉、そして「現場の声」は私の活動の原点です。その声を国政に届け、看護職が「今日も良い看護ができた！」と実感できる環境づくりのために、この六年間、再び尽力してまいります。

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

国会議員たより



衆議院議員
木村やよい
・総務大臣政務官

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新たな元号・令和の時代が始まり、9月の改造内閣では総務大臣政務官を拝命した、忘れられない年となりました。

私の総務省での担当は、情報通信、放送行政、郵政行政。人と人を、人とモノを、電波や光ケーブルや様々な手段を使って「つなげる」仕事です。

副大臣、政務官ともに高市早苗大臣を支え、総務行政に力を尽くしてまいります。

人口減少社会のわが国の社会保障を持続可能なものにしていくために、情報技術の活用が期待されます。情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちが取り残されることなく、活躍できる、そんな社会の実現に努めるのが私の役割だと思っています。

総務省ホームページ、動画チャンネルで日々の活動をご覧いただけます。

これからも女性、母親、看護職の視点を生かし、「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。

何よりも、光の当たらぬところにあたたかな光を当てる政治を忘れずに、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。

本年も、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本県看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会
会長
嶋田 晶子

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は元号が変わり新天皇即位式や大嘗祭等の一連の行事に多くの国民が祝福し新しい時代を感じた年でした。

さて、県協会も昨年は様々な事業に取り組みました。その中で「くまもと復興応援ナース」の熊本県の取組みが全国知事会の先進政策バンクにおける優秀政策（健康福祉分野）奨励賞を受賞したことは県と共に取り組んできた看護協会としても大きな喜びでした。行政をはじめ、関係機関や阿蘇地域の医療機関、そして全国から応援いただいた復興応援ナースの皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。

人生100年時代を迎え、100歳人口も7万1238人（2019年9月15日厚生労働省調査）と過去最多となりました。また、日本の高齢化率をみると2018年10月1日現在28.1%に達し熊本県では、30.6%と県民の3.3人に1人以上が65歳以上の高齢者で、その半分以上が75歳以上と全国に先駆けて超高齢社会を迎えています。

厚生労働省では2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい人生の最期まで続けることができるよう、

地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。熊本県も国と一体化した取り組みがなされており、県協会でも今年度の地区別看護管理者会は、「地域を知り看護管理に活かす」の同じテーマで荒木先生（元熊本県立大学総合管理学部教授）にお話しいただき、地域について学び、それぞれの地域の課題が共有できました。また、看護連盟からもご参加いただき組織強化と共に、お互いの連携の必要性が確認できました。

2020年はナイチンゲール生誕200周年にあたり今Nursing Nowキャンペーンが2020年まで全国展開をしています。県協会も賛同して様々な機会を通して周知を図っています。そこで、令和2年2月2日（日）協会・連盟合同の研修会には、日本看護協会福井会長をお招きし「看護の力で健康な社会を」のテーマで講演していただくことになっております。

最後に、今年は十二支では「子年」にあたり、新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。新しい年が次の未来への大いなる可能性に向かって羽ばたく年となるよう、皆さんと共に看護の力を結集してまいりましょう。

Nursing now

災害見舞について

昨年の台風19号は、日本各地に大きな被害をもたらしました。東北、関東地方で、看護連盟会員が被災されています。そのうち、福島県では56名（12/13現在）の方々が被災されました（他県は数名）。県看護連盟では、昨年11月のリーダー研修会会場で災害見舞の募金を行い、13,423円が集まりました。これに、熊本県看護連盟から5万円を加えて、計63,423円を福島県看護連盟にお送りしました。熊本地震では全国からご支援をいただいております。少しでもお返しができるといいですね。

令和元年

秋の叙勲 受章おめでとうございます

◆ 瑞宝単光章 山本 八重 様 (現 熊本労災病院看護部長)

永年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

石田まさひろ議員 国政報告会

～令和元年9月29日 アークホテル熊本城前～

来賓の馬場成志氏(参議院議員 自由民主党副幹事長)からは、2期目当選できたことへの感謝の言葉から始まり、今後は石田議員とともに重要な仕事に取り組んでいき、震災復興にも継続して力を注いでいきたいと決意を述べられた。

石田まさひろ氏(参議院議員 厚生労働委員会委員長・沖縄及び北方問題に関する特別委員会)は、看護の現場は大変厳しいが『今後人は増えない』という中で、現状の人員体制でどのように工夫していくかが重要であると報告された。対策としては大きく2点を挙げられた。1. 仕事の中身 2. 質を上げることである。1-1) 業務整理をすること：現状は記録や手続きが簡素化されていない。1-2) 記録の簡素化と医療安全：最も阻害しているのは「訴えられたら困る」ために、その予防として記録に時間をかけている。訴える人の割合は数%であるのに膨大な記録を書くのも如何か。1-3) 限界：ヒヤリハットについては、統計をとることや早期提出に重点がいき、形骸化している。2. 質を上げること：個人差をなくすることが重要である。その他、交代制勤務について：毎日、勤務を変更する必要があるのか。1ヶ月交代制で夜勤担当など工夫してみる事など、その他多数の課題に対して新たな考え方を示唆された。熊本県看護協会 嶋田晶子会長より、潜在看護師の届出制度についての質問があり活発な意見交換となった。最後に、科学技術の進歩は著しく、看護業務の根本を変える。今後、昭和の看護からの脱出が不可欠であり、看護職皆で頑張りましょう。と力強く講演されていた。



『青年部代表 あつまれ～九州は 心ひとつ!!』

九州ブロック青年部会議(長崎市立図書館) 令和元年12月21日(土) 13:00～17:00

《各県の活動報告》

これまでのメインイベントと1年間の主な活動を報告。「模擬選挙」について、たくさんの質問があった。(発表：桜十字病院の甲斐拓也)



前田幹事

《参加者》

総数57名(青年部42名 会長7名 他主催県担当者) 熊本県(青年部5名 会長1名)



《研修講演とグループワーク》 「ナースのためのプレゼン開発メソッド」 講師：嶋谷圭一氏(東京医療保健大学)

今回から新たに企画されたブロック会議への参加は不安があったが、他県青年部の活動を聞く中で、ぜひ真似したい取り組みもあり、発見と学びの研修となった。わが県にないものとして、出前ポリナビ(看護学校・施設に出向き) 青年部便りの発行 宿泊研修 ポーリング大会などがあった。青年部活動を興味のわく内容にしていきたい。

(甲斐 圭祐)

心惹かれた挨拶!!先輩の心強さ、その活動で今があること。歴史を知り引き継ぐことの大切さを改めて知った。本部前田青年部幹事の挨拶で、「九州の青年部は活気があり、何事も全国に先駆けている」と述べられ前向きに頑張る力をもらった。講義では、プレゼンやスライド作成時の基本的な構造や手順、シナリオの作り方や接続詞の使い方などを学ぶことができた。

(段下 健)

本県青年部の課題として、①青年部への勧誘を動めていかなければならない、②同じ研修が続いている、③女性の青年部員が少ないことが挙げられた。今後はポリナビ、若手・新人会員研修は継続していき、他県のユニークな研修を参考に研修内容を見直し、再検討すること。また、女性の青年部員を増やすために、短い任期でも良いので青年部の活動に参加してもらえ体制作りが必要ではないかと話し合った。

(小松 徳英)

第6回県議会議員と看護職との交流会

令和元年11月25日 ホテル熊本テルサ テルサホールにて

第6回の県議会議員との交流会を11月25日に開催し、自民党県議34名が出席された。看護職は看護協会役員3名、看護管理者および連盟役員等計44名参加した。矢野会長の挨拶のあと、前川收自民党県連会長、藤川隆夫自民党県議団団長、嶋田晶子県看護協会会長より挨拶をいただいた。その後「地域包括支援システムにおける在宅介護施設の役割と課題」について、前田豊県南3支部長が発表された。



地域包括の土台作りは、地域に飛び出し人と人、地域との絆を深めることが大切であり、地域力を高める関わりが重要であり難しくもあるということでした。

意見交換会は、議員の選挙区を中心に6グループに分かれて活発な意見交換を行った。

Aグループ

玉名郡市・荒尾市
山鹿市・菊池市

- ・看護職の働き方改革や高齢者の増加、ACP等について意見交換した。
- ・少子化の中で特に夜勤する人材の減少でどのようにタスクシフティングするのか意見交換した。

Bグループ

熊本市

- ・ナースセンター機能を活用するためには更なる検討が必要で応援したい。
- ・熊本市は保育園が少ないので職場復帰を妨げている。
- ・地域のリーダーの育成が必要。リーダー育成に補助金をつけたらどうか。

Cグループ

人吉市・水俣市
葦北郡・球磨郡

- ・人吉球磨地域は老々介護・病々介護の家庭がある。住みなれた地域で人生の最終段階を迎えたくても負担が軽い入院を選択する傾向にある。
- ・有資格者を有効に活用するためにライフスタイルに合わせた施設選択をしていく。

Dグループ

天草郡市・八代郡市

- ・天草と熊本市内の医療に格差を感じる。ドクターヘリを夜間も運用できるようにしていただきたい。
- ・天草の看護職の給与が他の地域より安い。取り組みが必要と議員より意見があった。

Eグループ

合志市・菊池郡市
阿蘇郡市

- ・菊池合志等は人口増加があるが賃金が安く人材確保は困難である。

Fグループ

上益城郡市・宇城市
下益城郡市・宇土市

- ・訪問看護は人材確保以外にも建物や市街化調整区域の制限など制限が多い。今後連盟として意見をまとめてみると良いと助言を受ける。

熊本県議会を傍聴して

令和元年12月4日11時から矢野会長他連盟役員5名で、熊本県議会議員竹崎和虎氏の一般質問を傍聴した。防災・減災、国土強靱化県民幸福度について質問。知事より「災害に強い、河川の浸水区分を1年前倒しにする。ソフト対策（自分を自分で守る）・防災講座（防災意識を高める）・避難対策（2020年度スマートフォン確認）安心・安全な熊本を実施する」と答弁、さらに県民幸福度全国第2位（独自性の調査結果73%幸福度を持っている）と聞き、やや感動した知事の発言でもあった。

なお、10時からの県議会議員吉田孝平氏の一般質問を連盟役員2名が傍聴。7つの項目について質問。傍聴の醍醐味を感じたのは、県の温室効果ガス排出削減の取り組みについて質問された時である。国は「2030年度までに26%削減」としているが、蒲島知事から「0を目指す」と宣言があった。県としては7番目の取り組みであり、すぐにニュースとなった。重大発表の場にいたことはとても興味深いことである。

議員活動報告より



あべ俊子 衆議院議員

2019年9月に外務副大臣の任を終え、国会対策副委員長を拝命し、厚生労働委員会と復興委員会を担当しています。法案の審議を円滑にし通過するために、衆参の擦りあわせなどを行います。発言力は高いので各省庁や根回しや調整はしやすい立場にあります。そして、自民党国際局次長も務めています。政府にいと発言できない内容も党の国際局からだて発信できる事もあります。2020年度診療報酬改定、次の骨太方針など大きな転機を迎える中、党の役割で縦横無尽に活動できる立場をいただきました。



たかがい恵美子 参議院議員

新たな経済対策の検討
一連の災害被害、とくに河川の氾濫等による被害は昨年を大きく上回っており、減災防災をも視野に入れた改良復旧が求められています。文教科学分野では、人づくりの充実強化、最先端のイノベーション促進及びスポーツ・文化の振興の加速を補正予算の重点としています。ICT化はSociety5.0の未来社会を創る児童生徒にとって必須の教育環境だと考えています。生まれ育つ場によって受けられる教育機会が制約されることのないよう、しっかりと対応して参ります。



石田まさひろ 参議院議員

自民党看護問題小委員会が8月29日に開かれ、事務局長として司会進行を務めました。令和2年度の看護関係予算概算要求について、看護関連団体と国会議員を招き、7%ほどの増額要求となりました。

「特定行為に係る看護師の研修制度」関連事業が増額要求です。医師の働き方改革の議論に関連し、特定行為研修の充実が求められています。来年度は引き続きの研修事業だけでなく、修了者の活躍できるシステムづくりや雇用についてのモデル事業も行っています。



木村やよい 衆議院議員

2019年9月13日 総務大臣政務官を拝命しました。情報通信、放送行政、郵政民営化などを担当します。情報通信技術の発展により①災害に強いまちづくり・くにつくり、②労働力不足の改善、③地域医療・介護の充実などが期待できます。多様で柔軟な働き方改革を進めてまいります。政務官として、これまで私が地道に取り組んできた政策課題についても、引き続き力を尽くしてまいります。

11月性暴力のない社会の実現を目指す議員連盟に出席し、性暴力・配偶者暴力の被害者支援の強化のための予算確保のためがんばります。

看護連盟の対外的活動（期日：2019年10月～2019年12月まで）

期日	名称	会場	出席者	内容
10月5日(土)	各種団体からの要望聴取の会	ホテルメルパルク熊本	矢野・笹井 山本・工藤 井手(協会)	・開会:前川会長挨拶(政策を実現するために選挙がある) 国会議員挨拶・知事挨拶 ・要望聴取に関する概要説明 質疑応答
10月11日(金) 10月18日(金)	新人看護職員研修責任者等研修会	熊本県看護協会	工藤	実施指導者研修演習指導 研修報告会 閉講式
10月12日(土)	木原みのる政策セミナー	熊本市民会館 シアーズホーム 夢ホール	矢野・山本 工藤・村上	講演:「日本の進路と誇りある国作り」 講師:櫻井よしこ氏(ジャーナリスト・公益社団法人国家基本問題研究所理事長)
10月26日(土)	熊本県男女共同参画交流協議会 研修交流会	熊本中央公民館 6階会議室	工藤	テーマ:全員参画による元気で安全な社会作り 講演:「子供が幸せ、大人も幸せ」 講師:吉田道雄氏(熊本大学名誉教授)
10月30日(水)	広島県看護連盟活動推進会議	広島看護協会会館	工藤	対象:広島県看護連盟役員・支部長・支部役員・委員会委員・施設代表者・支部 幹事・フロアリーダー・参加者数:約250名 講演:熊本県看護連盟の活動について～自立した支部活動とは～
11月8日(金)	G20岡山保健大臣会合開催 記念事業	三木記念ホール (岡山)	矢野	公益社団法人岡山県看護協会主催 記念講演「看護の力で健康な社会を」 講師:福井トシ子氏 鼎談:「健康長寿社会の知恵を語ろう ～持続可能な地域社会の実現に私たちができること～」 コーディネーター:清水嘉与子氏 演者:加藤勝信氏(衆議院議員自由民主党総務会長)坂本すが氏 中谷祐貴子氏 日本看護協会の活動 熊本県看護協会の活動 ナースセンターの活動 講演:「地域を知り看護管理に活かす」 講師:荒木紀代子氏(元熊本県立大学総合管理学部教授) ※最後に連盟として意見を述べた。(協会の役割から政治に向けて)
11月15日(金)	熊本県看護協会地区別看護管理 者会(上益城・宇城)	熊本回生会病院	山本	「
11月21日(木)	熊本県看護協会地区別看護管理 者会(八代・水俣・芦北・人吉・球磨)	芦北町社会教育セン ター	矢野	「
11月26日(火)	熊本県看護協会地区別看護管理 者会(有明・鹿本・菊池・阿蘇)	菊池郡市医師会病院	工藤	「
11月27日(水)	熊本県看護協会地区別看護管理 者会(熊本市東・西・南)	済生会熊本病院	矢野	「
12月6日(金)	日本看護サミット2019 訪問看護サミット2019	パシフィック横浜国立大 ホール	矢野・工藤 田中・藤村 大坂間	テーマ:看護が創造する 地域の未来～つなげよう!166万人の看護の力～ 解説:「地域包括ケアと看護をめぐる現状と課題 ～166万人で地域の看護提供体制を実施」 特別講演:「未来の看護に臨むこと」 鼎談:「超高齢・人口減少社会に期待される新しい看護の形」 シンポジウム:「今、看護が創造する地域包括ケア」サミット宣言
12月11日(水)	新人看護職員研修責任者等研修 会検討会	熊本県看護協会	工藤	今年度研修のまとめ 次年度研修計画

支部役員研修会

県北2支部 阿蘇温泉病院 松平 直明

日 時：令和元年9月3日(火) 午前
 テーマ：「連盟支部活動を推進していくために」
 講 師：大島 敏子氏(日本看護連盟 会長)



9月3日午前中に支部役員研修が行われました。第25回参議院議員選挙の結果、無事に石田まさひろ先生を国政に送り出すことが出来、研修参加者も一安心と言った気持ちであったと思います。私も、自身の選挙区において、前回より若干の得票数低下はありましたが、当選したことに安堵していました。しかしながら、前半の大島会長の講義では、看護の代表者がより活躍するためには、さらなる票の獲得が必要であることを再認識しました。その一つの例として、中医協のメンバーには、看護師は入っておらず、診療報酬等に直接的な関わりを持つことが出来ていない現状がある。そのため、グループワークでは、得票数の変動の原因追求やその対策を考える機会になりました。看護職一人一人の認識が高くなる必要があるが、看護管理者の関わりも重要であるとの意見が出ました。今後、看護職の代表である議員の活躍を応援する為に、どうすれば得票数を高める事に繋がるか、考えて行きたいと思いました。

若手会員・新入会員 研修会

日 時：令和元年9月11日(水) 午後
 10月 8日(火) 午後
 テーマ：「Nurseの知らない世界」
 講 師：段下 健氏(青年部リーダー)



菊南病院 村上 美帆

私は、看護連盟会員でありながら、活動内容に関して全く無知でした。

今回、初めて研修に参加して、青年部スタッフからの分かり易い説明を受け、連盟の歴史や活動内容について理解が深まりました。私達は、各グループに分かれ、グループ毎にマニフェストを掲げる模擬選挙を行いました。現場で困っていること、ストレスや不安に思うことを議題に挙げ、どう改善していくかの「法案」を作成しました。そして、全員で投票を行い、どの政策が良かったかを決定しました。

現場から声を上げ、発信し、その声を国会へ届ける。それが、私達看護師の地位向上に繋がり、看護の質の向上に繋がっているのだと改めて理解できました。

自分で考え、選択する。私達の大事な意思表示だと思いました。

青磁野リハビリテーション病院 平田 紗弥加

新卒看護師として、4月から仕事を始めました。看護の専門職として働く上での職能団体という言葉は聞いても理解が十分ではありませんでした。看護連盟についての理解とその活動内容を学ぶこと又、「Nurseの知らない世界」というテーマにも興味があり、研修会に参加しました。看護連盟は政治活動であること、看護連盟の歴史、看護の代表議員の実績、法律ができるまでの流れ、診療報酬についてと法律制定されることで看護界へ与えた影響など学びました。グループワークや模擬選挙を体験し、自分達の職場環境を変えるためには、私たち自身が考えて代表議員を選出していくことが必要だということを理解しました。グループワークでは、自分達の問題に対して解決策をたて、法案を考えて模擬選挙を行いました。法律のできるまでの流れや、新入会員と意見交換ができました。選挙に行き、看護師の代表を政治家にする為に投票しようと思いました。

会員研修会

天草支部 千丈 すま子

9月3日に日本看護連盟の大島敏子会長による会員研修会が行なわれました。

講演では会員ハンドブックを基に、看護連盟の誕生や目的・活動、代表議員による主な実績などについて丁寧に、また力強く、分かりやすく説明されました。代表議員による主な実績

は、現在では当然の政策になっています。また、当然となっている実績の一つ一つの意味を知り、伝えることが大切な事だと感じました。講演後のグループワークでは、「生き生きと働くために」という内容で行なわれ、グループワーク後は、積極的に発表するグループもありました。大島会長も、全グループが何かしらの発言ができるように進行され、発表内容に対しては、笑顔で色々問いかけながら、答えを導き出しているように感じました。

看護連盟の役割を知ることはもちろんですが、そこには否定的な言葉は全く無く、とても気持ちの良い研修になりました。

日 時：令和元年9月3日(火) 午後
 テーマⅠ：「ナースセンター事業について」
 講 師：河津 佐和子氏(熊本県看護協会 熊本県ナースセンター業務部長)
 テーマⅡ：「生き生き働くために～看護連盟の役割～」
 講 師：大島 敏子氏(日本看護連盟 会長)



リーダー研修会

平成とうや病院 寺本 ひろみ

11月7日ホテル熊本テルサにて、リーダー研修会が行われました。日本看護連盟の和田幸恵幹事長による講義では、改正法律案成立までの足取りや、永田町・霞が関での苦労や業績を学びました。看護関連の課題は看護職の力で解決するしかなく、政策実現

のためには国政に看護職代表を送るのみに止まらず、意見を通せるポジションに押し上げる数の力が必要です。連盟活動は、関心のない人に行動変容を起こさせることが必要で、自分の考えをしっかりと持ち、熱意を持って伝えることが大事であると、先生の話は胸に熱く伝わりました。グループワークでは「わかってもらいたいことはなにか!どのようにして!」というテーマで、対象者別の研修プログラムを作成し、熱伝導を実行に移すための研修となりました。

日 時：令和元年11月7日(木)
 テーマ：「ナースセンター事業について」
 講 師：河津 佐和子氏(熊本県ナースセンター 事業部長)
 テーマ：「政治の仕組みを知る～看護政策実現に向けて～」
 講 師：和田 幸恵氏(日本看護連盟 幹事長)



天草支部研修会

天草支部長 池崎 富美子

12月8日日本看護連盟の大島会長が初めて遠い天草に来て頂きました。

会長のピンクのスーツと、その後のトークに活力を感じて心を奪われました。

看護連盟の歴史、協会との役割の違い、看護の代表議員の活動、法律、制度、連盟会費、など具体的な講義でした。なかでも一番心に響いたのは実体験を基に「看護とはなんだろう。患者はどんな声掛けを求めているか。さりげない、何気ない私たちの言動が看護だ」と話され、自分を振り返り反省するとともに、自信を取り戻すことができました。

参加者は役員を含め90名。今回、連盟の研修に始めて参加した人は3割で、研修の理解ができた人は99%でした。講義時間が足りない、研修を受けた意義があったと多くの声が聴かれました。

またぜひ天草において頂き、連盟が看護職のためだけでなく、人としての生活にとけこみ社会を変えている事を気付かせて頂ければと思います。

日 時：令和元年12月8日(日)
 テーマ：「看護連盟の役割」
 講 師：大島 敏子氏(日本看護連盟 会長)





私の趣味

沢山お寄せ頂き有難うございました。

「会員の広場」宛

メール: knf043@world.ocn.ne.jp
FAX: 096-383-0163

公立玉名中央病院 木村 優一さん

①御金神社
②伏見稲荷神社
③二条城
④八坂神社
「毎年、京都を訪れて神社やお寺めぐり、御朱印集めをするのが私の今の楽しみです。」



熊本赤十字病院 根本 奈津子さん

仕事もボルダリングも両方がんばっています。岩にだって挑戦します。みなさんもいかがでしょうか、やってみませんか。見かけたら声をかけてください。



熊本機能病院 K・Gさん

多忙な仕事から解放され、気分転換にもなり楽しくバイクライフ過ごしています。



保利病院 税田 葉子さん

毎月2回地域の公民館で10名の仲間で生花を習っています。



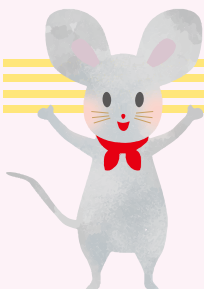
工藤 秀子さん

「一度は生の試合を見たい」そんな思いで、家族を誘って2回観戦！アンゴラ対アルゼンチンと最終日。どちらのチームにも声援を送り、ウェーブ、一体感があり、とても楽しかったです。



2019年 女子ハンドボール世界選手権大会

※次回からは「私のたからもの」です！**たからものの写真・名前と一言コメント、投稿者名(ペンネーム)掲載の可否**を4月13日までに、上記「会員の広場」にメールでお寄せ下さい。



あなたの脳を活性化しましょう

次の文字を並び替えて四字熟語を作ってみましょう。

- ①安無事穩
- ②石金吉部
- ③一負六勝
- ④一着件落
- ⑤一金笑千
- ⑥有天頂外
- ⑦機心械之
- ⑧奇淫技巧

(回答は次号掲載)

(35号の回答) ①一騎当千 ②新進気鋭 ③抜山蓋世 ④一子相伝 ⑤剛胆無比 ⑥一心一意 ⑦獅子奮迅 ⑧一竜一猪

水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛

睡眠セミナー

無料サービスのご案内



東洋羽毛(ノーリット)株式会社

よく眠った人には、かなわない。

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

＊セミナーは研修内容及び研修時間についてご相談の上、実施させていただきます。

＊セミナーはご希望により何回でも承ることが可能です。

《睡眠セミナー実績例》

- ◇北海道看護連盟札幌支部
- ◇宮城県看護協会岩沼地区
- ◇茨城県学校生活協同組合
- ◇昭和大学病院
- ◇神奈川県立足柄上病院
- ◇富山市立新庄小学校
- ◇富士中央病院
- ◇名古屋掖済会病院
- ◇北大阪警察病院
- ◇神戸赤十字病院
- ◇広島県介護福祉士会
- ◇佐世保愛恵病院
- ◇枕崎市立病院 等多数

睡眠セミナーの様子



セミナー受講後の感想

- 寝の深い睡眠をとることで充実した日々が送れることが改めてわかりました。
- 不規則な勤務の中でもできることを教えてもらったので参考になった。
- 自分の睡眠の傾向を知ることができてよかったです。
- いつでもどこでも眠れるのは、良いことかなと思っていましたが、実は良くないと知りました。
- ヒューマンエラーが起こりやすい時間帯ということを初めて知り、気を付けていこうと思った。
- 良い睡眠がとれるように、今日からひとつずつ行ってみます。楽しい話でした。

東洋羽毛九州販売株式会社熊本営業所

〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目7番3号
フリーコール 0120-382808

お任せ下さい！ 夢100%…心の栄養分
暮らしのコーディネイト



みんなに ふわふわ
0120-32-2020



〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

取扱品目

- 羽毛ふとん ●羊毛ふとん
- ダウンジャケット
- シルク織通
- ムートンカーペット etc

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

日本看護連盟は、日本看護協会と連携し“Nursing now”（看護の力で健康社会を！！）のキャンペーン活動を行っています。

ナイチンゲール生誕200年になる2020年に向け看護職が持つ可能性を最大限に発揮し健康課題への取り組みの中心に立ち人々の健康向上に貢献するために行動する世界的キャンペーンです。健康な社会づくりに取り組んでまいりましょう。



カンタ君

レンコさん

2020年度の入会を受けています。

なるべく2月中に入会の手続きをよろしくお願い致します。

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう！

熊本県看護連盟の
目標会員は **7,500人**です！

年会費

日本看護連盟会費 5,000円

熊本県看護連盟会費 2,500円 合計 7,500円

看護連盟会員入会状況

	H28年度	H29年度	H30年度	2019年度(1月7日現在)
看護協会(人)	15,426	15,134	15,723	15,866
看護連盟(人)	7,478	7,420	7,331	7,143
協会員比率(%)	48.5%	49.0%	46.6%	45.0%

お知らせ

◎看護協会・連盟合同研修会

期日：2020年2月2日(日)

会場：看護研修センター

◎看護管理者等政策セミナー

期日：2020年2月29日(土)

会場：アークホテル熊本城前

◎熊本県看護連盟OB会

期日：2020年3月18日(水)

会場：くまもと県民交流館パレア

編集後記

今回、広報委員が交代となり新たに2名の方が加わりました。

看護連盟が身近な存在であると皆さまに感じ取って頂けるよう、より一層、広報誌の制作を頑張ります。よろしくお願い致します。

○広報委員

市村 栄子 園田 孝子

木村 優一 貞松由紀江

柴田 綾奈

○担当役員

山本 史恵 岩城まつ子

村上 元子



発行所／熊本県看護連盟

〒862-0950 熊本中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号

TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163

E-mail office.kumamoto@kango-renmei.gr.jp

HP <http://knf043.sakura.ne.jp/>

発行責任者
矢野メリ子